

活動内容のご紹介

～ 令和7年12月16日（火）横浜市立大綱小学校～



弊社は、令和7年12月16日、神奈川県横浜市立大綱小学校において防災教育を実施しました。これまで関西圏を中心に防災教育活動を行ってきましたが、関東圏での開催は今回が初めての取り組みとなります。

本防災教育は、横浜市立大綱小学校4年生約120名を対象として実施しました。当日は、弊社のN-EXPOメンバー13名が参加し、河川氾濫体験VRアプリ「オソレル」をはじめ、防災クイズ、割り箸を用いたレオナルド橋作り、水害を再現したジオラマ模型による実験など、体験型の多様なプログラムを通じて防災教育を行いました。

これらの取り組みは、子ども一人ひとりの防災意識の向上を図り、安全・安心に暮らすための知識や行動力を身につけてもらうことを目的として実施したものです。当日は、子どもたちがいずれのプログラムにも真剣かつ楽しそうに取り組む姿が見られました。

講座終了後には、生徒全員から感謝のお手紙をいただきました。そこには、「水害のことをくわしく知ることができました」「ハザードマップを見て浸水の高さが分かりました」「災害の危険がよく分かりました」などの感想やイラストが綴られており、本活動が小学生の皆さんの防災意識向上の一助となったことを大変嬉しく感じています。

今後も引き続き、関東圏においても防災教育活動を積極的に展開してまいります。



水害再現ジオラマ模型の実演



防災クイズ



河川氾濫体験VRアプリ「オソレル」



レオナルド橋づくりを体験！



今回参加した
N-EXPOメンバー♪